

世界は核抑止への依存を どのように低減できるか

参加費
無料

広島県／へいわ創造機構ひろしま（HOPE）では、核兵器廃絶に貢献できる若者の人材育成を図るため、日本を含む世界13カ国から核分野の若手研究者を広島へ招いて、核の歴史や研究方法などを学ぶための対面での集中合宿（「核の歴史に関するサマーキャンプinひろしま2025」）をローマ・トレ大学と連携して実施します。

その一環として、集中合宿に参加する、世界の第一線で活躍する講師陣や学生が、「世界は核抑止への依存をどのように低減できるか」について、意見交換する公開シンポジウムを開催します。

ぜひ奮ってご参加ください！



ジョセフ・ピラット

ロスアラモス国立研究所国家安全保障・
国際研究センタープログラム・マネージャー



デビッド・ホロウェイ

スタンフォード大学名誉教授



マリアナ・ブジェリン

マサチューセッツ工科大学（MIT）
核セキュリティ・政策研究所研究員



マシュー・ジョーンズ

ロンドン・スクール・オブ・
エコノミクス（LSE）教授



トン・ジャオ

カーネギー国際平和財団（中国）
核政策プログラム シニア・フェロー



西田 充

長崎大学
多文化社会学部教授



岩間 陽子

政策研究大学院大学教授
【モデレーター】

日時： 2025年9月13日（土）13：30～16：30

会場： 広島大学東千田キャンパス 未来創生センター M401/402
（広島市中区東千田町1-1-89）

主催： 広島県／へいわ創造機構ひろしま（HOPE） 広島大学、ローマ・トレ大学

開催方法：オンラインとのハイブリッドで同時開催（日英同時通訳あり）

申込方法：右側の二次元コードからお願いします。（9月11日（木）締切）

詳細は広島県公式HP中「核分野の若手研究者集中合宿」をご覧ください。

二次元コードが読み取れない方はHPから申し込み可能です。

（<https://www.pref.hiroshima.lg.jp/site/peace80/action-summer-camp.html>）

問合せ先：へいわ創造機構ひろしま（HOPE） TEL：082-513-2466

